

2024年度 環境経営レポート

(対象期間:2024年 4月 ~ 2025年 3月)



発行日：2025年 5月 1日



協 永 電 機 株 式 会 社

3. 環境経営方針

環 境 経 営 方 針

【基本理念】

当社の理念である「環境に配慮した豊かな社会の創造」を実現する為、事業活動において環境負荷の低減を図り、環境保全活動の継続的な改善に努めます。

【行動指針】

1. 環境経営システムを構築・維持し、継続的な改善を行います。
2. 環境関連法令及び条例等を遵守します。
3. 電力及び燃料使用の省エネルギーに取組み、二酸化炭素排出量の削減を推進
4. 廃棄物の分別により廃棄物排出量の削減を推進
5. 水使用量の削減を推進
6. 環境に配慮した工法の開発・実行

この方針を全従業員に周知徹底し、社外にも公表します。

2020年 7月 1日 制定

2022年 6月 1日 改定

協 永 電 機 株 式 会 社

代表取締役 田中 齊信

2. 取組の対象組織・活動の明確化

(1) 名称及び代表者名

協永電機株式会社

代表取締役 田中 斉信

(2) 所在地(本社)

〒675-0062 兵庫県加古川市加古川町美乃利472

Tel 079-424-4394 Fax 079-425-1217

第一倉庫

〒675-0062 兵庫県加古川市加古川町美乃利472-2

第二倉庫

〒675-0062 兵庫県加古川市加古川町美乃利428



本社 社屋



本社へのアクセスマップ

(3) 環境管理責任者の氏名・連絡先

環境管理責任者：桑田 浩一

連絡先 : Tel 079-424-4394 Fax 079-425-1217

Mail: kuwata@kyoeidenki.co.jp

(4) 事業内容

建設業の許可 兵庫県知事(特-2) 第401184号 電気工事業

兵庫県知事(般-2) 第401184号 管工事業

許可の有効期間 令和2年7月10日～令和7年7月9日

業務内容 電気工事業、管工事業

(5) 事業の規模

資本金 2000万円

創立 昭和49年4月

建設業 年間工事完成高 298,670千円(2024年度)

	本 社	第一倉庫	第二倉庫	合 計
従業員	14名	—	—	14名
延べ床面積	520.76㎡	203.37㎡	161.70㎡	885.83㎡

(6) 事業年度

4月1日から翌年3月31日

(7) 認証・登録の対象範囲

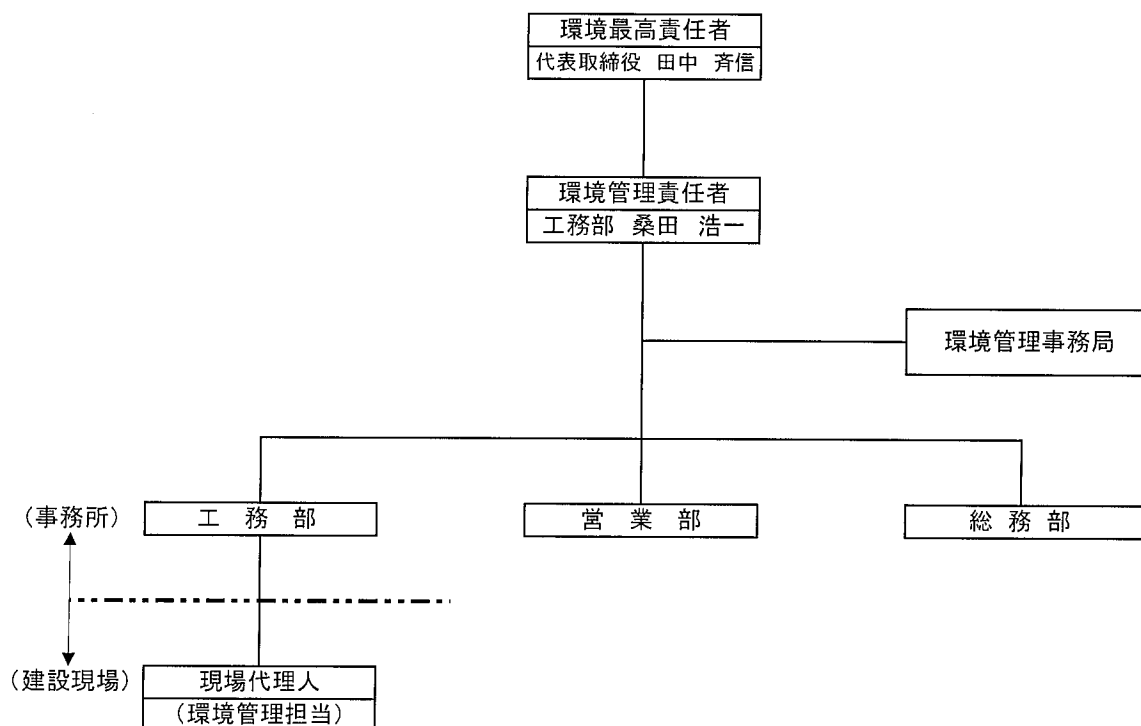
登録組織名 協永電機株式会社

対象事業所 本社、第一倉庫、第二倉庫

対 象 外 なし

活 動 電気工事業、管工事業

3. 実施体制図及び役割・責任・権限表



	役割・責任・権限
環境最高責任者	■ 環境経営に関する統括責任 ■ 代表者による経営における課題とチャンス明確化 ■ 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知徹底 ■ 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用、時間、技能、技術者を準備 ■ 環境経営システムの全体の評価と見直し・指示 ■ 環境経営レポートの承認
環境管理責任者	■ 環境経営システムの構築、実施、維持管理 ■ 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ■ 環境経営レポートの確認
環境管理事務局	■ 環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ■ 環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ■ 環境活動の実績集計 ■ 環境関連法規制等取りまとめ表の作成、遵守評価の実施 ■ 環境経営レポートの作成
部門長	■ 自部門における環境経営システムの実施 ■ 自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ■ 緊急事態対応手順のテスト、訓練を実施、記録の作成
現場代理人 (環境管理担当)	■ 建設現場における環境経営システムの実施 ■ 工事担当者及び協力会社員に対する教育訓練の実施 ■ 建設現場での問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	■ 環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ■ 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

4. 主な環境負荷の実績

項 目	単位	2023年度 基準年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	32,118	35,639	—	—	—
電力使用量	kWh	17,267	17,699	—	—	—
ガソリン使用量	L	6,714	7,726	—	—	—
軽油使用量	L	3,507	3,889	—	—	—
一般廃棄物排出量	kg	177	175	—	—	—
混合廃棄物排出量	kg	4,651	4,240	—	—	—
水使用量	m ³	80	73	—	—	—

※化学物質は使用しません

5. 環境経営目標及びその実績

(1) 2024年度の実績

項 目		年 度	2023年度 (2023年4月 ～2024年3 月)	2024年度における実績			
				(2024年4月～2025年3月)			
				基準値	目標	実績	達成度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	32,118	31,958	35,639	89.7%	×	
	対基準		△0.5%	11%			
電力使用量削減	kWh	17,267	17,181	17,699	97.1%	△	
	kg-CO ₂	7,494	7,456	7,681			
	対基準		△0.5%	3%			
ガソリン 使用量削減	L	6,714	6,680	7,726	86.5%	×	
	kg-CO ₂	15,576	15,498	17,924			
	対基準		△0.5%	15%			
軽油 使用量削減	L	3,507	3,489	3,889	89.7%	×	
	kg-CO ₂	9,048	9,002	10,034			
	対基準		△0.5%	11%			
II. 廃棄物削減							
一般廃棄物 排出量削減	kg	177.38	175.61	174.90	100.4%	○	
	対基準		△1.0%	△ 1%			
混合廃棄物 排出量削減	kg	4,651	4,604	4,240	108.6%	○	
	対基準		△1.0%	△ 9%			
III. 水使用量削減	m ³	80	79	73	108.2%	○	
	対基準		△1.0%	△ 9%			
V.環境に配慮した 施工の推進	件	3	3	5	166.7%	○	
	対基準		+ 0%	+ 67%			

注1) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、関西電力(株)2022年度実績値の調整後係数 0.434kg-CO₂/kWh を使用。

注2) 達成度欄にて、削減を目指す場合は、達成度＝目標÷実績×100%、増加を目指す場合は、達成度＝実績÷目標×100%

注3) 評価欄にて、○:達成(100%以上)、△:やや未達成(95%～100%未満)、×:未達成(95%未満)

注4) 環境に配慮した施工とは、環境に考慮した工法や資材の顧客への提案及びグリーン調達品の積極的な採用を言う。

(2) 中期目標

年 度 項 目		2023年度 基準年度	2024年度	2025年度	2026年度	2027年度
I. 二酸化炭素 排出量削減	kg-CO ₂	32,118	31,958	31,797	31,637	31,476
	対基準		△0.5%	△1%	△1.5%	△2%
電力使用量削減	kWh	17,267	17,181	17,094	17,008	16,922
	kg-CO ₂	7,494	7,456	7,419	7,381	7,344
	対基準		△0.5%	△1%	△1.5%	△2%
ガソリン 使用量削減	L	6,714	6,680	6,647	6,613	6,580
	kg-CO ₂	15,576	15,498	15,420	15,343	15,264
	対基準		△0.5%	△1%	△1.5%	△2%
軽油 使用量削減	L	3,507	3,489	3,472	3,454	3,437
	kg-CO ₂	9,048	9,002	8,958	8,912	8,867
	対基準		△0.5%	△1%	△1.5%	△2%
II. 廃棄物排出量						
一般廃棄物 排出量削減	kg	177	175	173	172	170
	対基準		△1%	△2%	△3%	△4%
混合廃棄物 排出量削減	kg	4,651	4,604	4,558	4,511	4,465
	対基準		△1%	△2%	△3%	△4%
III. 水使用量 削減	m ³	80	79	78	78	77
	対基準		△1%	△2%	△3%	△4%
V. 環境に配慮した 施工の推進	件	3	3	3	4	4
	対基準		±0%	±0%	+30%	+30%

注1) 注1) 電力の二酸化炭素排出量への排出係数は、関西電力(株)2022年度実績値の調整後係数 0.434kg-CO₂/kWh を使用。

補足1) 主な環境負荷の実績、環境経営目標及びその実績には、新聞・カタログの一般廃棄物及び混合廃棄物以外の産業廃棄物は、いずれも環境に影響を与えない排出量であるため、含まない。

補足2) 化学物質は使用していないため、目標に設定していない。

6. 環境経営計画及び取組結果とその評価、次年度の環境経営計画

◎よくできた ○まずまずできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価結果と次年度の環境経営計画
二酸化炭素排出量の削減 (目標未達成)		
(下記の通り)	○	(下記の通り)
電力使用量の削減 (目標やや未達成)		
・節電の周知徹底(節電シールの貼付)	○	常に節電の周知徹底を行った。次年度も徹底する。
・空調温度の適温化	○	室内温度の適温化を実施した。次年度も継続する。
・不要照明の消灯	○	不要照明の消灯を徹底した。次年度も継続する。
ガソリン使用量の削減 (目標未達成)		
・エコドライブ10の周知徹底	○	社内にエコドライブ10のポスターを掲示し、社用車にもエコドライブ10
・現場への必要最小限の配車	○	の標語を掲示し、エコドライブ10の周知徹底を行った。次年度も
		エコドライブに関心を持たせ周知徹底を行う。
軽油使用量の削減 (目標未達成)		
・エコドライブ10の周知徹底	○	社内にエコドライブ10のポスターを掲示し、社用車にもエコドライブ10
・現場への必要最小限の配車	○	の標語を掲示し、エコドライブ10の周知徹底を行った。次年度も
		エコドライブに関心を持たせ周知徹底を行う。
一般廃棄物の排出量削減 (目標達成)		
・裏紙の有効活用	○	社内用の書類は、裏紙使用を徹底した。次年度も徹底する。
・ミスコピーの防止	○	コピー機にリセットボタンを押す旨を徹底した。次年度も徹底する。
・両面コピーの印刷	○	常日頃から書類の整理整頓を徹底した。次年度も徹底する。
混合廃棄物の排出量削減 (目標達成)		
・3Rの促進	○	資源の再利用、ゴミの減量を徹底した。次年度も徹底する。
・確実な分別(廃棄物と有価物)	○	分別を徹底した。次年度も徹底する。
水使用量の削減 (目標達成)		
・節水の周知徹底(節水シールの貼付)	◎	節水シールを貼付け、節水の周知徹底を行った。次年度も
		引き続き取組を継続する。
・洗車の回数制限	◎	洗車の回数を制限したことにより水の使用量の削減ができた。次年度も引き続き取組を継続する。
・洗濯機の利用制限	◎	洗濯機の使用回数を制限したことにより水の使用量の削減ができた。次年度も引き続き取組を継続する。
環境に配慮した施工の推進 (目標達成)		
・環境に配慮した工法や資材の使用、 実態調査及び施工を推進する。 ①環境配慮型電線・ケーブルの顧客への提案 ②グリーン調達積極性採用	○	目標は達成できたが、提案してもなかなか取り入れて頂けないのが現状、次年度も顧客に積極的に提案していき、引き続き取組を継続する。

7. 環境関連法規等の遵守状況の評価の結果

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

適用される法規制	遵守する事項	遵守評価
廃棄物処理法	保管基準の遵守、収集運搬・処分業者との適正な契約書の締結 マニフェストの交付・保存・確認・交付状況等報告書の提出	遵守
建設リサイクル法	再生資源、建設工事副産物の再利用 再生資源利用計画書、実施記録の作成	該当なし
自動車NOx・PM法	規制対象車両の登録禁止、規制対象車両の指定地域通行禁止	遵守
騒音規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	該当なし
振動規制法	特定建設作業の届出、規制基準の遵守	該当なし
排出ガス対策型建設機械の普及促進に関する規程	低排出ガス対策型建設機械の使用の普及・促進	該当なし
低騒音・低振動型建設機械の指定に関する規程	低騒音・低振動型建設機械の使用の普及・促進	該当なし
消防法	消火設備・火災警報設備の点検整備	遵守
フロン排出抑制法	フロン類使用機器の定期点検と記録、漏洩防止、廃棄時の適切な処理	遵守
家電リサイクル法	特定家電4品目の適正な事業者(家電販売店)への引き渡し	該当なし

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制等は遵守されていることを確認しました。

なお、環境法規制等への違反、訴訟、環境上の苦情等も過去3年間ありませんでした。

8. 代表者による全体の評価と見直し・指示

目標が達成できなかった電気使用量、ガソリン・軽油の使用量について、まず電気使用量の削減については、長引いた猛暑と厳寒の影響で、エアコンの稼働率が上がったのが原因と考えられる。ガソリン・軽油の使用量については、1年を通して仕事量が増え、ガソリン車、トラックとも稼働率が上がったのが原因と考えられる。また、1年を通して遠方への工事が増え、それも少なからず影響していると考えられる。社用車の稼働率が上がるとガソリン・軽油の使用量が増えるのは当たり前のことだが、2025年度は、各現場への配車について、適正配車(台数など)に努め使用量の削減に努めること。また電気使用量については、何らかの対策をたて削減できるようにすること。一般廃棄物、混合廃棄物、水の使用量の削減については、目標を達成しているので引き続きより一層の削減に向けて努力していくこと。環境に配慮した施工の推進については、目標は達成しているが、顧客に施工に関して満足して頂くのが一番である。引き続き環境に配慮した施工を根気よく提案していくことが重要である。2025年度についても目標値が達成できるように活動計画を立て、全社員に徹底させる。

項 目	見直し要否	見 直 し 内 容
環境経営方針	要	改善事項のうち「環境経営方針の第6項」について、改善事項通りに改定すること
環境経営目標	要	改善事項のうち「環境経営目標」及び「環境経営計画の策定」について、「建設リサイクル率の向上」について目標及び活動計画を策定すること。
環境経営計画		
実施体制	否	—
その他	否	—

2025年 4月 18日
代表取締役 田中 斉信

9. 環境への取組の紹介

9-1 教育訓練



E A 2 1 の取組を適切に実行するための3ヶ月に一度、教育訓練を実施している。

9-2 クリーン作戦



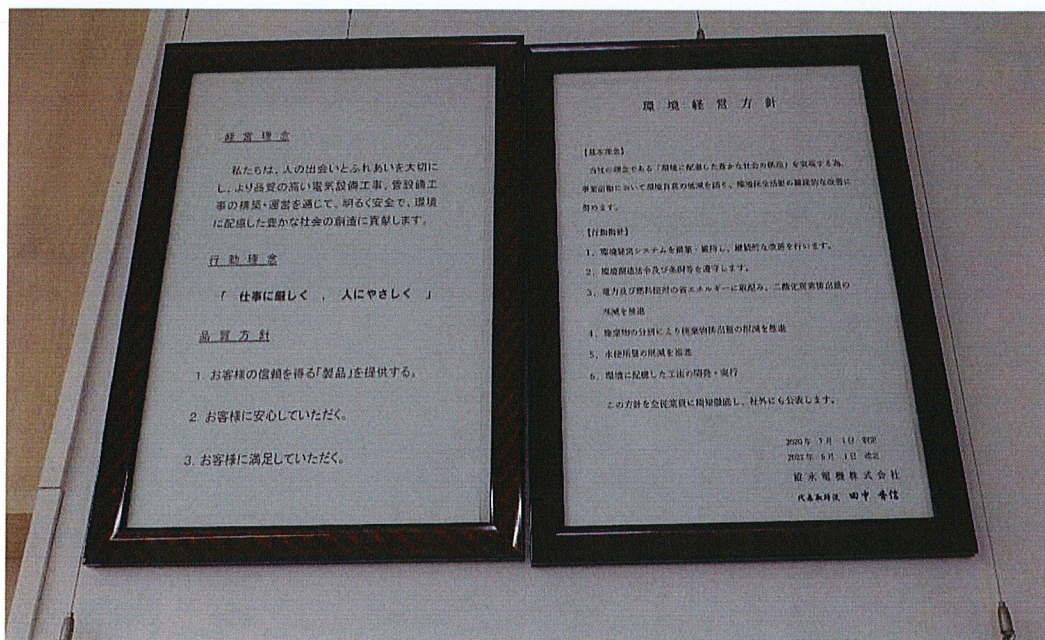
毎月第2火曜日の朝、「クリーン作戦」と題して、社員全員で会社の周辺の清掃活動を行っている。2006年から始めた「クリーン作戦」、始めてから19年が経過した。

9-3 町内の溝掃除



毎年4月の第3日曜日に、「町内の溝掃除」があり毎年数人の社員が参加している。

9-4 環境経営方針の掲示



全社員が「環境経営方針」を常に意識してもらうために、事務所内の2箇所に「環境経営方針」を掲示している。

9-5 消防訓練(避難訓練・通報訓練)



毎年4月に講師を招いて常時事務所にいる社員を対象に消防訓練（避難訓練・通報訓練）を実施している。

9-6 消防訓練(消火訓練)



毎年4月に講師を招いて全社員を対象に消防訓練（消火訓練）を実施している。

9-7 節水の掲示

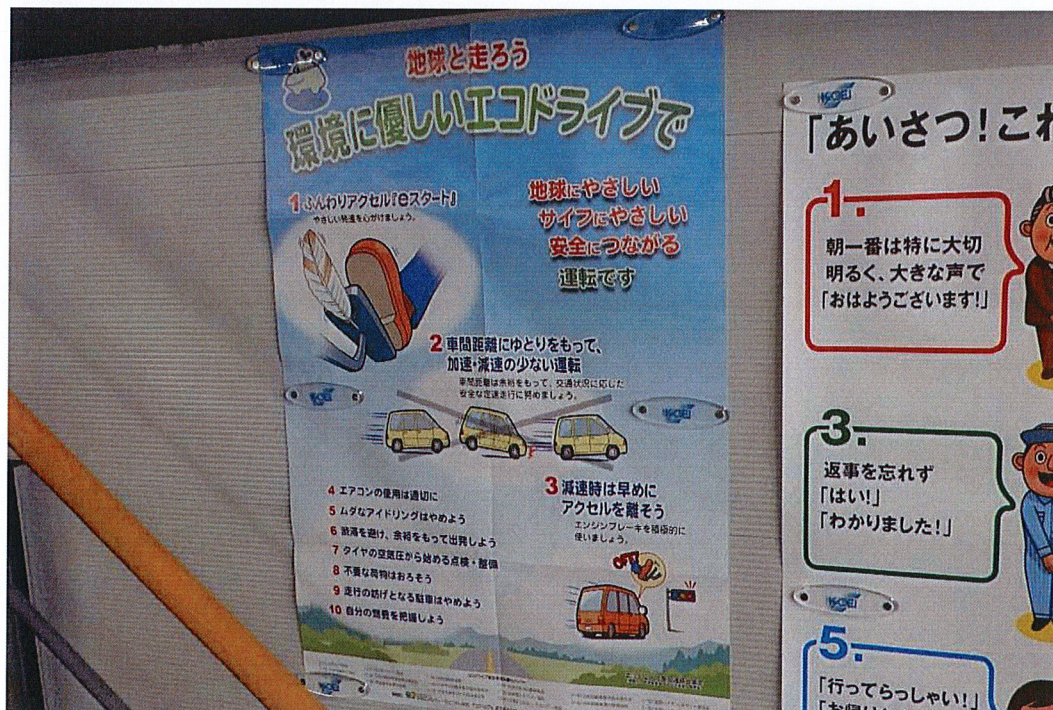


洗濯機の利用制限を実施し、節水の周知徹底を行っている。



手洗い場に節水の旨を掲示し、節水の周知徹底を行っている。

9-8 エコドライブ10



全社員が常にエコドライブを心掛けるように、事務所に「エコドライブ10」のポスターを掲示している。